

2023年3月期 第1四半期決算概要



日進工具株式会社

2022年7月29日
(証券コード6157)

目次

2023年3月期1Qの業績

P. 3	・・・	第1四半期決算の概要
P. 4	・・・	営業利益の減益要因
P. 5	・・・	損益計算書サマリー
P. 6	・・・	貸借対照表サマリー
P. 7	・・・	四半期業績推移

2023年3月期の業績予想

P. 14	・・・	業績予想
P. 15	・・・	第1四半期における進捗状況
P. 16	・・・	配当予想

参考資料

P. 18	・・・	過去5年間の業績と主要データ推移
P. 19	・・・	投資指標
P. 20	・・・	株価推移とバリュエーション
P. 21	・・・	I R 情報サイトのご案内

2023年3月期 第1四半期の業績



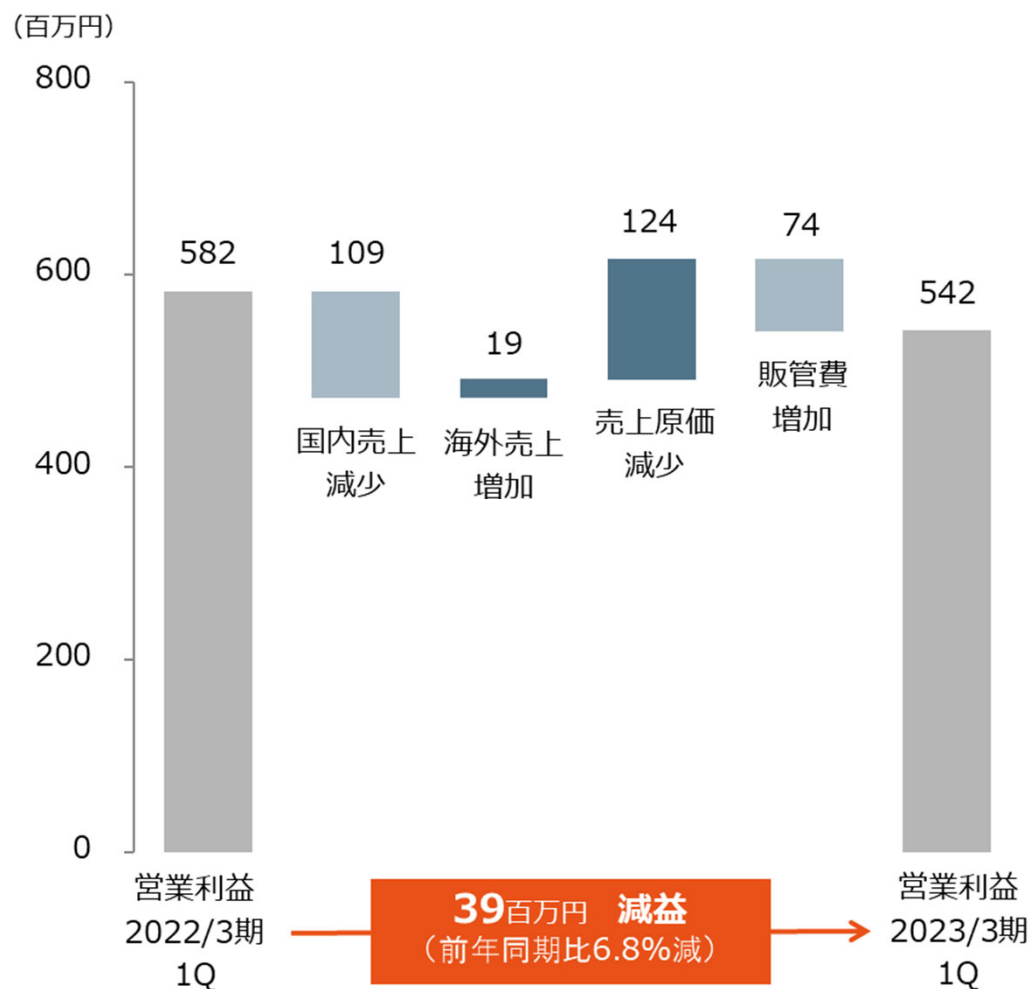
第1四半期決算の概要

前年同期に比べ減収・減益もほぼ計画通りの水準

(単位：百万円)	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	2023年3月期 上期予想	進捗率
売上高	2,445	2,355	4,770	49.4%
前年同期比	+26.4%	-3.7%	-1.1%	
営業利益	582	542	1,080	50.2%
前年同期比	+65.5%	-6.8%	-3.1%	
経常利益	589	540	1,090	49.6%
前年同期比	+66.8%	-8.3%	-3.6%	
四半期純利益	392	322	720	44.8%
前年同期比	+68.7%	-17.8%	-6.6%	

- 自動車関連は世界的な部品供給不足による減産が影響し低調。半導体や電子部品・デバイス関連では活況が続いていた電子部品関連が一部落ち着きをみせたものの、概ね好調に推移した。当四半期の連結売上高は2,355百万円と、前年同期比3.7%の減少となった。
- 連結経常利益は540百万円と同8.3%の減少。売上高経常利益率は23.0%と同1.1ポイント低下。
- 保有している非上場株式の評価損計上により、特別損失が24百万円発生。

営業利益の減益要因



- 売上高は国内が前年同期比109百万円、6.4%減少した一方、海外は同19百万円、2.6%増加した。売上高全体では同89百万円、3.7%の減少となった。
- 材料費や外注加工費は微増、労務費は主に賞与引当金が増加、製造経費も主に製造電力費が増加し、製品製造原価は同6.2%増加した。前年同期には売上の回復に伴い減少していた製品在庫が、当四半期は増加したことにより、売上原価は同124百万円、10.5%の減少となった。
- 販管費は賞与引当金の増加等から人件費が同5.9%増加、営業活動再開による出張費用や広告宣伝費等の増加により販売費が同34.7%増加した。販管費全体では同74百万円、11.0%の増加となった。
- これらの結果、営業利益は同39百万円、6.8%減少し542百万円となり、売上高営業利益率は23.0%と前年同期の水準を0.8ポイント下回った。

損益計算書サマリー

(単位：百万円)	2022年3月期 1Q実績	2023年3月期 1Q実績	前年同期比 増減率
売上高	2,445	2,355	-3.7%
売上総利益 対売上高比率	1,260 51.6%	1,295 55.0%	+2.7%
販管費 対売上高比率	678 27.8%	753 32.0%	+11.0%
営業利益 対売上高比率	582 23.8%	542 23.0%	-6.8%
経常利益 対売上高比率	589 24.1%	540 23.0%	-8.3%
四半期純利益 対売上高比率	392 16.0%	322 13.7%	-17.8%
設備投資額	95	214	+124.2%
減価償却費	161	163	+1.2%
従業員数(人)	350	359	+2.6%

- 売上高は2,355百万円と前年同期比3.7%の減少。自動車関連は部品供給不足の影響による減産が続き低調。一方、半導体・電子部品関連は概ね好調に推移した。
- 売上総利益は1,295百万円と同2.7%増加。製品在庫増加により売上原価が10.5%減少しており、売上総利益率は55.0%と同3.4ポイント上昇した。
- 販管費は販売費の増加等に伴い、同11.0%増加し、売上高販管費比率は32.0%と同4.2ポイント上昇。
- これらにより、営業利益は同6.8%減少の542百万円、売上高営業利益率は23.0%と同0.8ポイント低下した。
- 設備投資額は、期初計画に基づく生産設備の増強により214百万円と同124.2%の増加。減価償却費は前々期抑えていた設備投資を前期は例年通り行ったため同1.2%の増加となった。

貸借対照表サマリー

(単位：百万円)	2022年 3月期末	構成比	2023年 3月期1Q末	構成比	前期末比
(資産の部)					
I 流動資産	11,807	66.1%	11,480	65.4%	-2.8%
現金及び預金	8,543	47.8%	8,076	46.0%	-5.5%
受取手形及び売掛金	1,322	7.4%	1,288	7.3%	-2.6%
棚卸資産	1,840	10.3%	1,918	10.9%	+4.2%
II 固定資産	6,066	33.9%	6,069	34.6%	+0.1%
有形固定資産	5,435	30.4%	5,467	31.2%	+0.6%
無形固定資産	32	0.2%	30	0.2%	-7.0%
投資その他の資産	598	3.4%	572	3.3%	-4.4%
資産合計	17,874	100.0%	17,549	100.0%	-1.8%
(負債の部)					
I 流動負債	1,483	8.3%	1,129	6.4%	-23.9%
買掛金	249	1.4%	284	1.6%	+14.3%
II 固定負債	224	1.3%	224	1.3%	-
負債合計	1,708	9.6%	1,354	7.7%	-20.7%
(純資産の部)					
自己資本合計	15,950	89.2%	15,979	91.1%	+0.2%
純資産合計	16,165	90.4%	16,195	92.3%	+0.2%
負債・純資産合計	17,874	100.0%	17,549	100.0%	-1.8%

流動資産

法人税や賞与の支払等により現金及び預金が減少したこと等から前期末比2.8%減少。

固定資産

有形固定資産は微増、投資有価証券の評価損計上等により投資その他の資産が減少したことから同0.1%増加。

負債

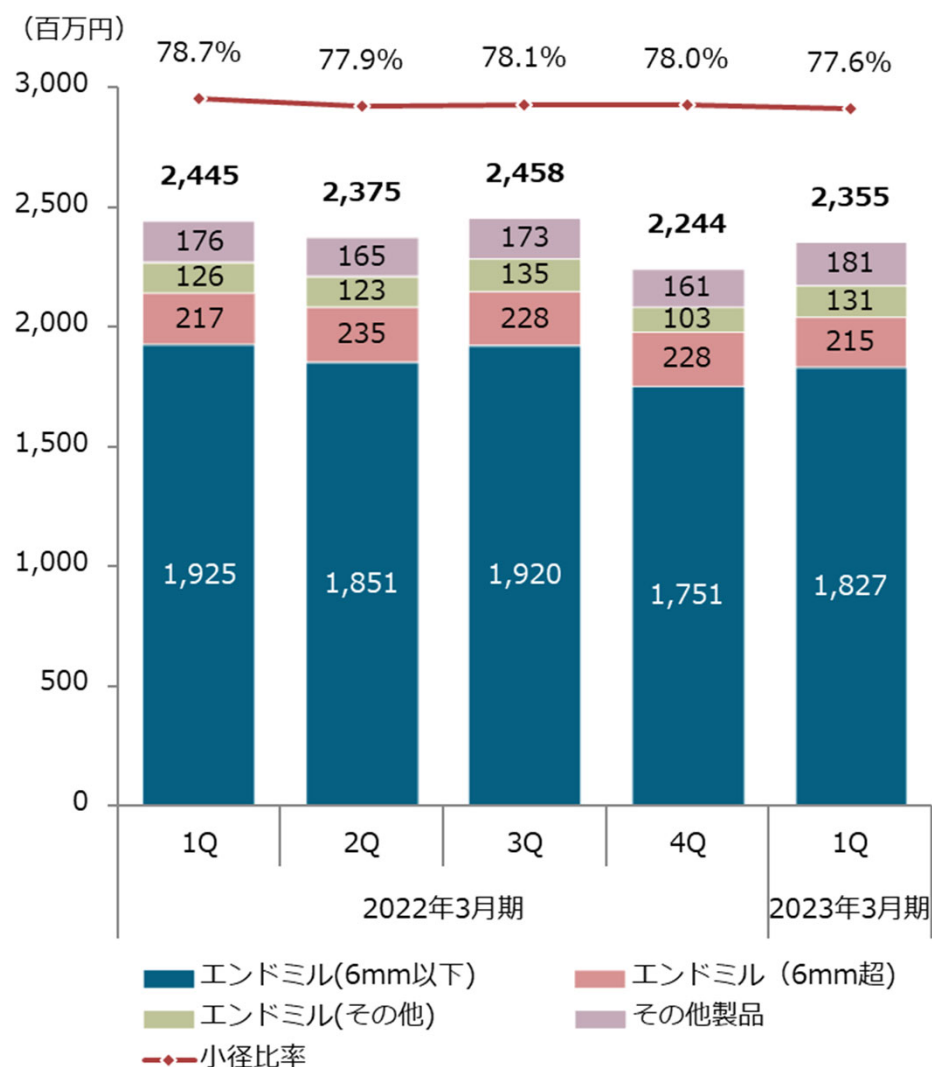
未払法人税等や賞与引当金の減少等により、同20.7%減少。

純資産

利益剰余金の増加や配当金の支払による減少等から、同0.2%増加。負債の減少もあり自己資本比率は91.1%と同1.9ポイント上昇。

四半期業績推移（売上高の推移①） 製品別

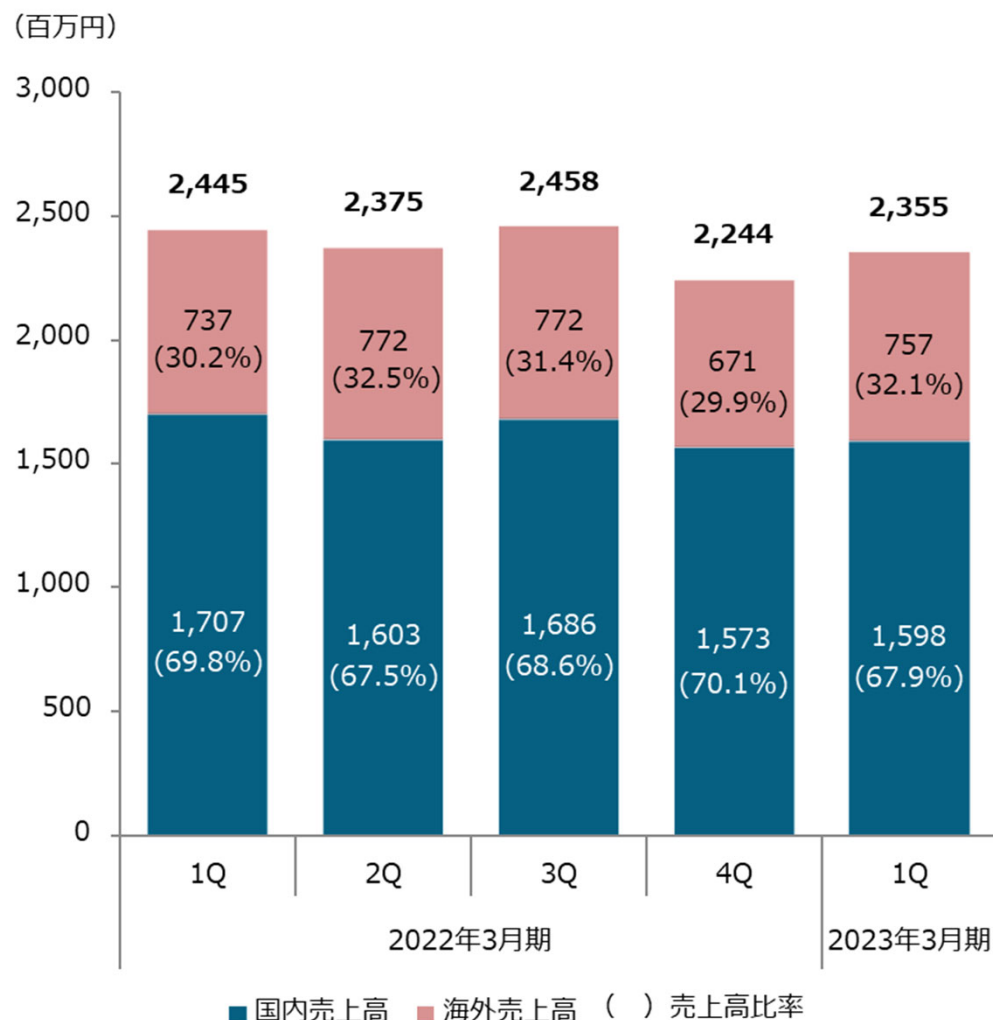
製品別売上高と小径比率の推移



- 自動車関連はロシアのウクライナ侵攻や中国のロックダウンが影響し、前期からの部品供給不足が解消せず、減産を強いられ低調となった。半導体や電子・デバイス関連は活況となっていた電子部品関連が一部落ち着きを見せたものの、概ね好調に推移した。連結四半期売上高は2,355百万円と前年同期比3.7%減少したが、前四半期比では4.9%増加した。
- 製品別では、主力のエンドミル（6mm以下）が前年同期比5.1%の減少、エンドミル（6mm超）も同1.0%減少した一方、ユーザーの独自仕様となる特殊品を中心としたエンドミル（その他）は同3.9%増加し、工具ケース等のその他製品は、同2.6%増加した。小径比率は77.6%と同1.1ポイント低下した。

四半期業績推移（売上高の推移②） 国内・海外

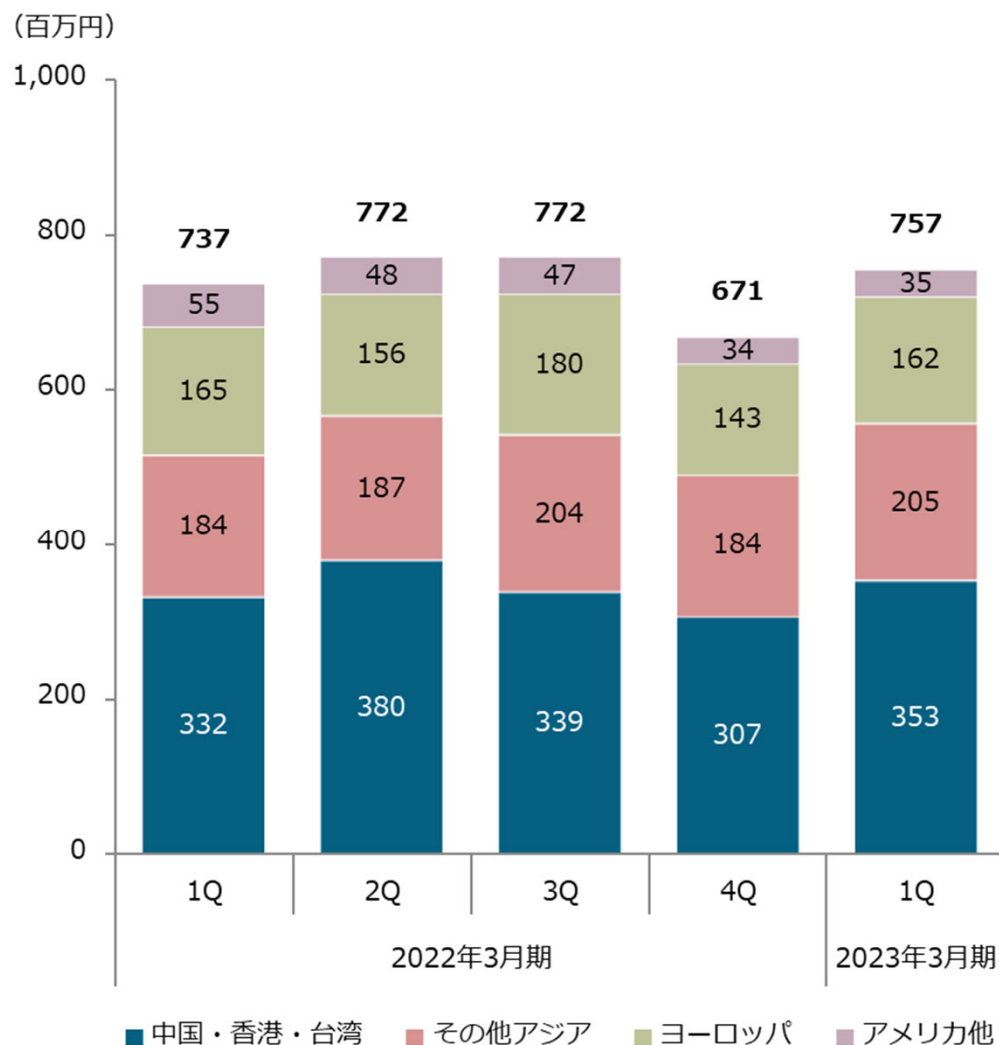
国内・海外売上高の推移



- 国内売上高は前年同期比109百万円、6.4%減少し1,598百万円となった。一方、海外売上高は同19百万円、2.6%増加し757百万円であった。
- 海外売上高は、主に中華圏で売り上げを伸ばした。日進工具香港の連結にからみ、当四半期の中国向けの数字はロックダウンの影響がまだ大きくなかった1-3月分。
- 海外売上高比率は前年同期比1.9ポイント上昇し32.1%となった。

四半期業績推移（売上高の推移③） 海外地域別

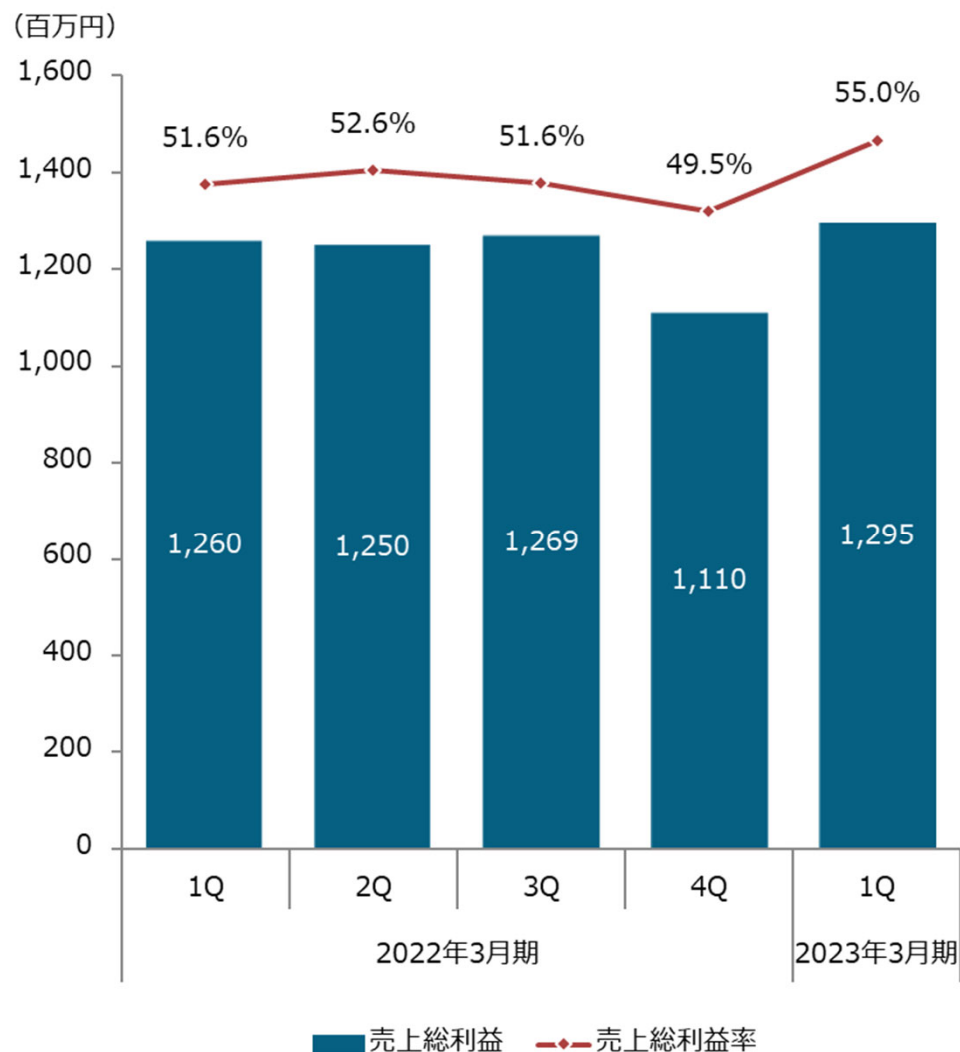
海外地域別売上高の推移



- 中国・香港・台湾は前年同期比6.2%増加の353百万円。日進工具香港の連結にからみ当四半期の中国向けの数字は1-3月分。VR機器関連の需要が増加したことや、ロックダウンに備えたユーザーの手許在庫確保の動きにより好調。また、半導体関連の需要により台湾向けの売上が伸びた。
- その他アジアは同11.3%増加の205百万円。自動車向け需要が戻ってきているが、部品供給不足の影響が今後懸念される。
- ヨーロッパは自動車関連が振るわず、同1.9%減少の162百万円。
- アメリカ他は前年同期に自動車向けの大口受注が入ったこともあり同34.7%減少の35百万円となった。今年9月に開催されるアメリカ最大規模の工作機械展示会「IMTS」への出展を機に、拡販を図る。

四半期業績推移（売上総利益の推移）

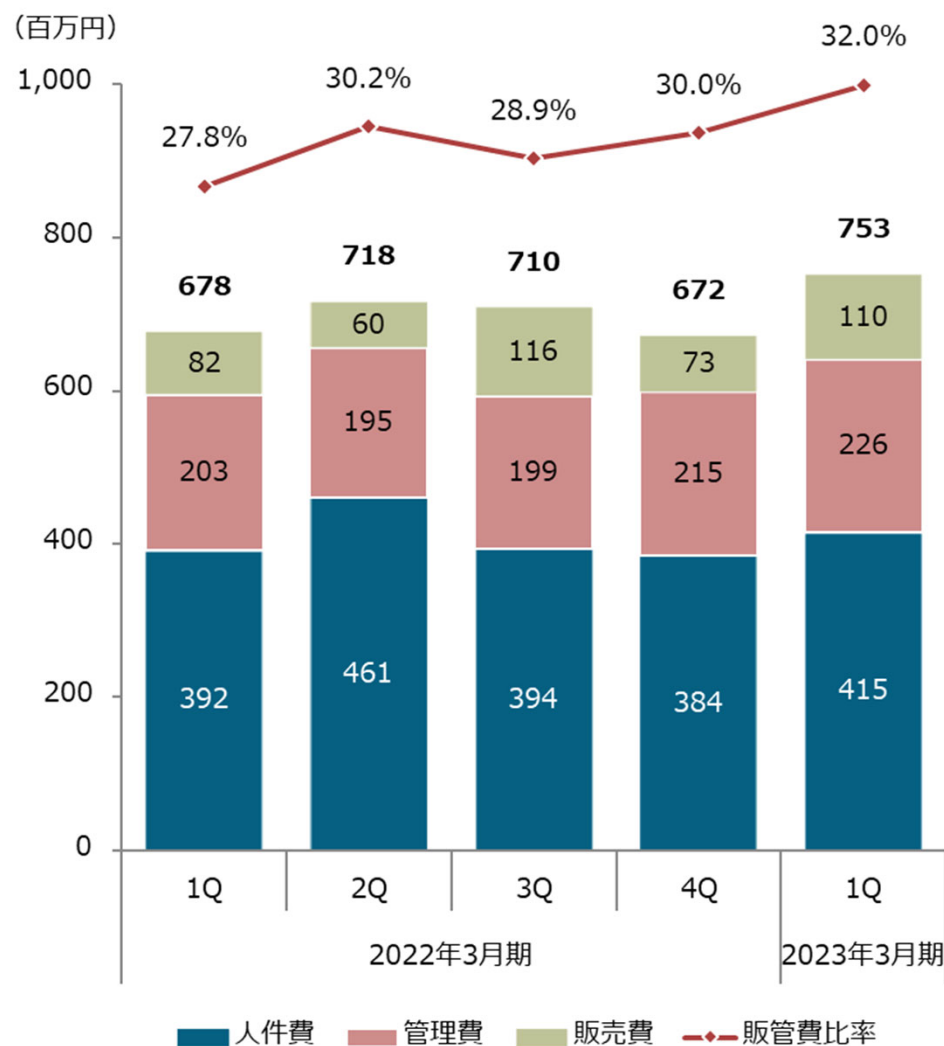
売上総利益と売上総利益率の推移



- 材料費・外注加工費は前年同期比微増、労務費は賞与引当金の増加等から同14.1%増、製造経費は製造 電力費の増加等から同8.8%増となり、当期製品製造原価は同6.5%増加した。しかし、製品在庫が前年同期は48百万円減少していたのに対し、当四半期は55百万円増加しており、売上原価は同10.5%の減少となった。
- これにより売上総利益は同2.7%増加し1,295百万円、売上総利益率は55.0%と同3.4ポイント上昇、前四半期比では5.5ポイント上昇した。

四半期業績推移（販管費の推移）

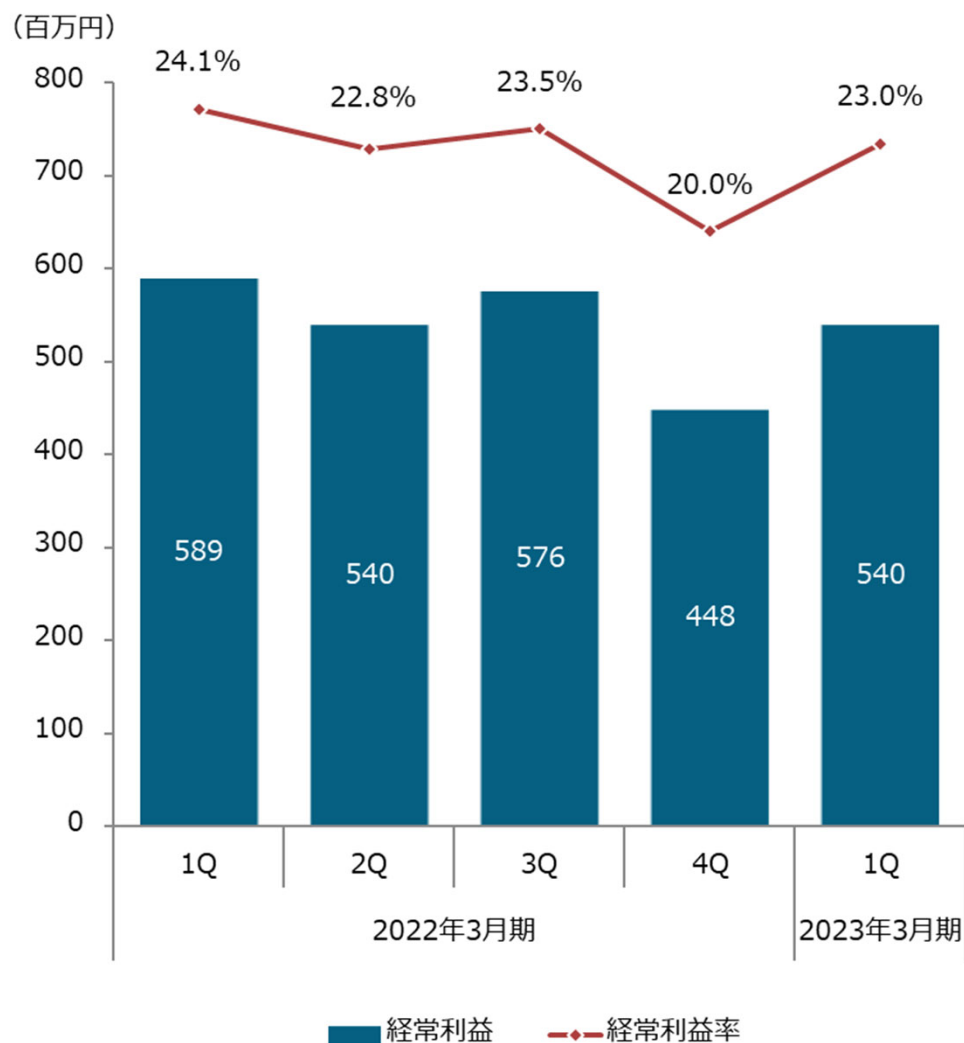
販管費と販管費比率の推移



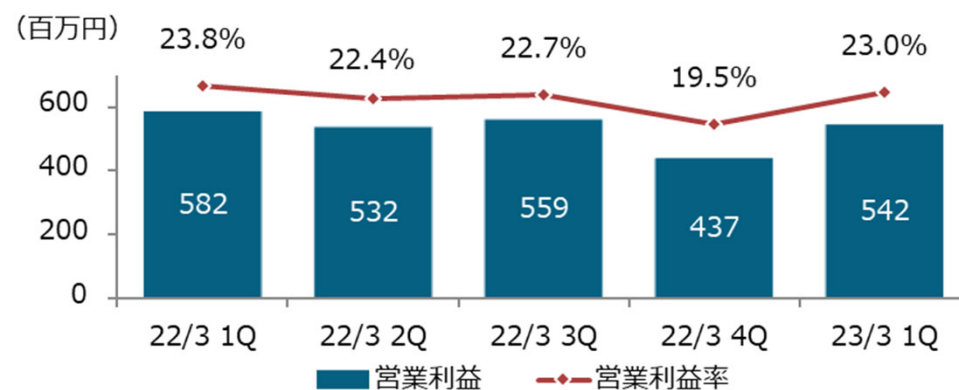
- 販売費は、営業活動の再開に伴い出張旅費が増加したことに加え、積極的なPR活動により広告宣伝費等が増加したことから、前年同期比34.7%増加の110百万円。
- 人件費は、賞与引当金の増加等から同5.9%増加の415百万円。
- 販管費全体では同11.0%増加の753百万円となり、売上高販管費比率は32.0%と同4.2ポイント上昇した。

四半期業績推移（経常利益の推移）

経常利益と売上高経常利益率の推移



- 営業利益は売上高の減少と販管費の増加等により前年同期比6.8%減少、542百万円となった。
- 営業外損益は、1百万円営業外費用が上回った。前年同期は役員退任に伴う保険解約等による収益が13百万円発生していたことにより、7百万円営業外収益が上回っていた。経常利益は540百万円、前年同期比8.3%の減少。
- 売上高経常利益率は23.0%と前年同期の水準を1.1ポイント下回ったが、前四半期比では3.0ポイント上昇した。



2023年3月期の業績予想



業績予想

(単位：百万円)	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前期比 増減率
売上高	9,524	9,690	+1.7%
営業利益	2,111	2,110	-0.1%
経常利益	2,156	2,120	-1.7%
当期純利益	1,522	1,440	-5.4%
設備投資額	659	1,064	+61.4%
減価償却費	692	780	+12.8%
EPS (円)	60.89	57.83	-5.0%
1株当たり配当金 (円)	22.50	22.50	-

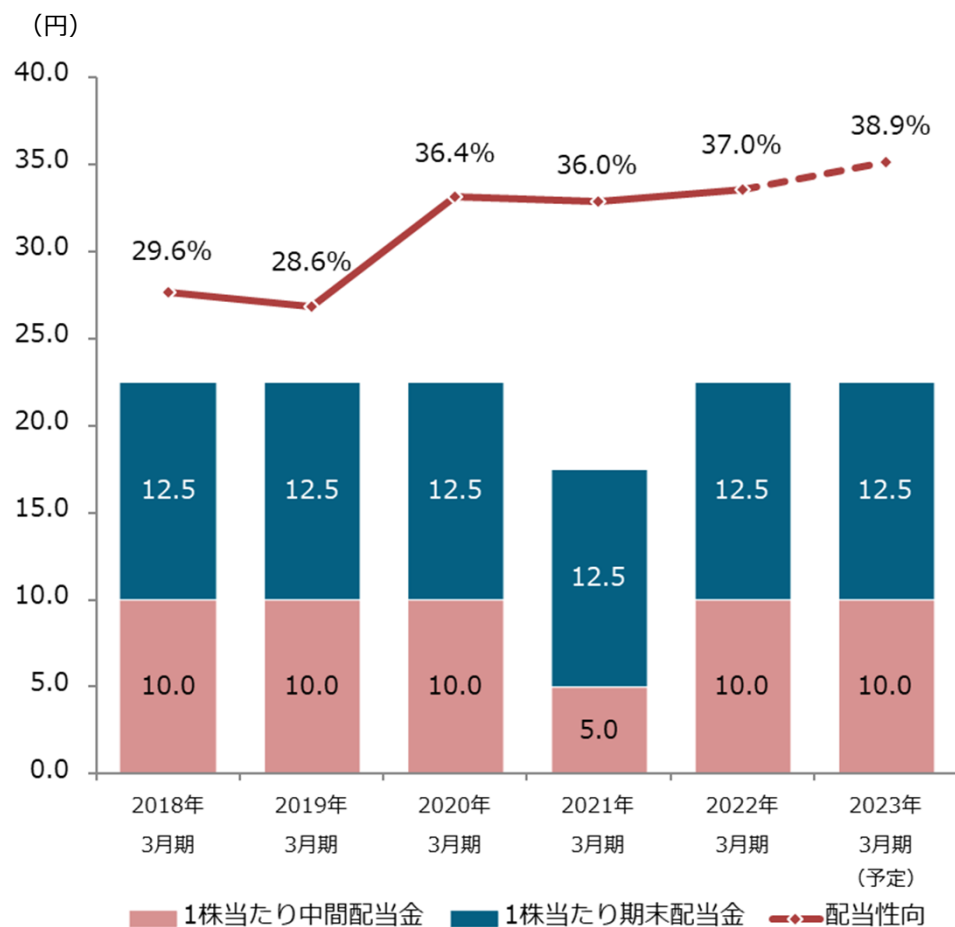
※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

- ロシアのウクライナ侵攻や中国ロックダウンによるサプライチェーン寸断の影響が続く様相。また、世界的な資源高や円安による原材料等のコスト増加が見込まれる。工具需要に関しては半導体や電子部品関連では引き続き堅調に推移すると想定されるものの、自動車の減産継続や半導体の在庫調整が懸念材料。
- 売上は堅調に推移するが、製造・販売コストの増加が想定されることから、売上高は前期比1.7%増の9,690百万円、営業利益は同0.1%減の2,110百万円、経常利益は同1.7%減の2,120百万円を見込む。
- 設備投資は、前期は例年並みであったが、当期は主に生産設備の増強等の積極的な投資を予定。
- 1株当たり配当金は、期末配当金12.5円を予定。年間では中間配当金10円を含め、22.5円を予定。

第1四半期における進捗状況

(単位：百万円)	2023年3月期				
	1Q実績	上期予想	進捗率	通期予想	進捗率
売上高	2,355	4,770		9,690	
前年同期比	-3.7%	-1.1%	49.4%	+1.7%	24.3%
営業利益	542	1,080		2,110	
前年同期比	-6.8%	-3.1%	50.2%	-0.1%	25.7%
経常利益	540	1,090		2,120	
前年同期比	-8.3%	-3.6%	49.6%	-1.7%	25.5%
当期純利益	322	720		1,440	
前年同期比	-17.8%	-6.6%	44.8%	-5.4%	22.4%

配当予想（株主還元について）



※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

安定性・継続性に配慮しつつ

業績動向や配当性向等を総合的に勘案

- 2022年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円。
中間配当10円、期末配当12.5円
配当性向は37.0%
- 2023年3月期の1株当たり年間配当金は22.5円を予定。
中間配当10円、期末配当12.5円
業績予想に対する配当性向は38.9%
- 株主優待
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された、
1单元（100株）以上を保有する株主様を対象に
オリジナルクオカード1,000円分を贈呈。

なお、保有年数3年以上の株主様には1,000円分を
追加で贈呈。

參考資料

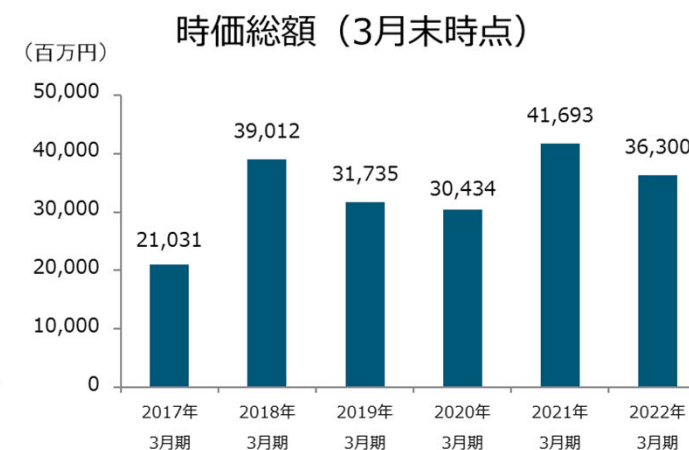
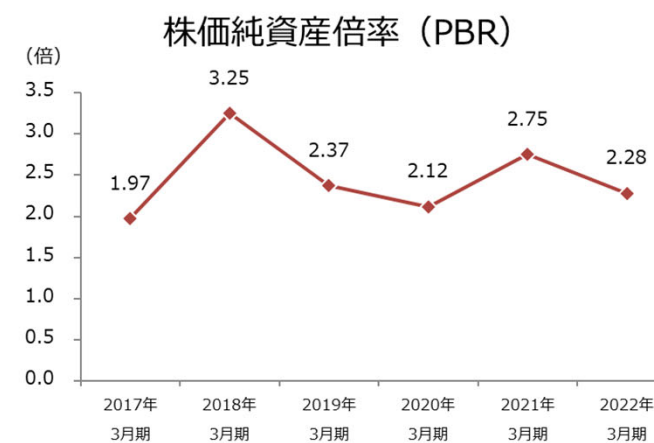
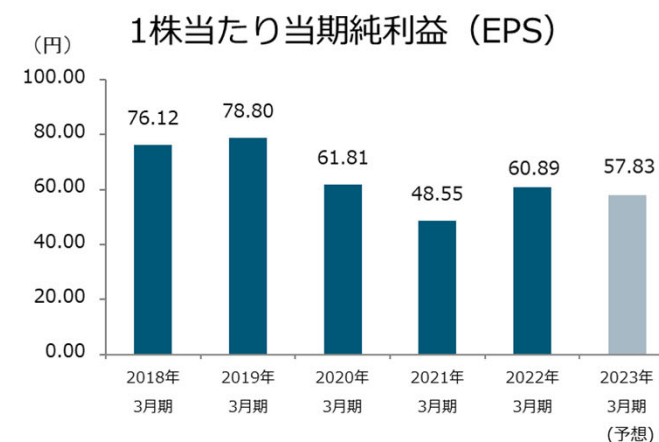
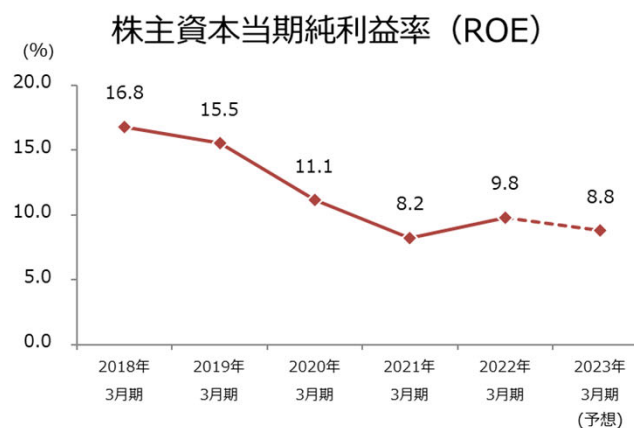
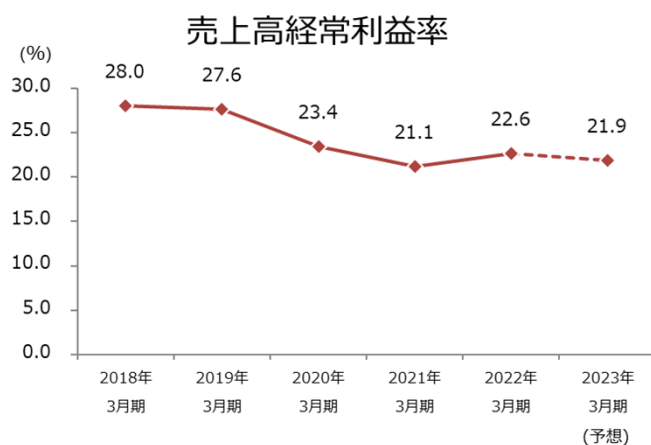


過去5年間の業績と主要データ推移

(単位：百万円)	2018年3月期 通期実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績
売上高	9,767	10,476	9,531	8,100	9,524
営業利益	2,695	2,879	2,219	1,512	2,111
営業利益率	27.6%	27.5%	23.3%	18.7%	22.2%
経常利益	2,733	2,894	2,231	1,712	2,156
経常利益率	28.0%	27.6%	23.4%	21.1%	22.6%
当期純利益	1,903	1,970	1,545	1,214	1,522
当期純利益率	19.5%	18.8%	16.2%	15.0%	16.0%
有利子負債額	—	—	—	—	—
純資産額	12,002	13,461	14,498	15,326	16,165
総資産額	14,467	15,381	16,017	16,936	17,874
自己資本比率	83.0%	87.1%	89.7%	89.4%	89.2%
設備投資額	663	1,268	1,755	462	659
減価償却費	625	629	698	707	692
1株当たり配当金(円)	22.50	22.50	22.50	17.50	22.50
従業員数(人)	338	343	338	339	348

※2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

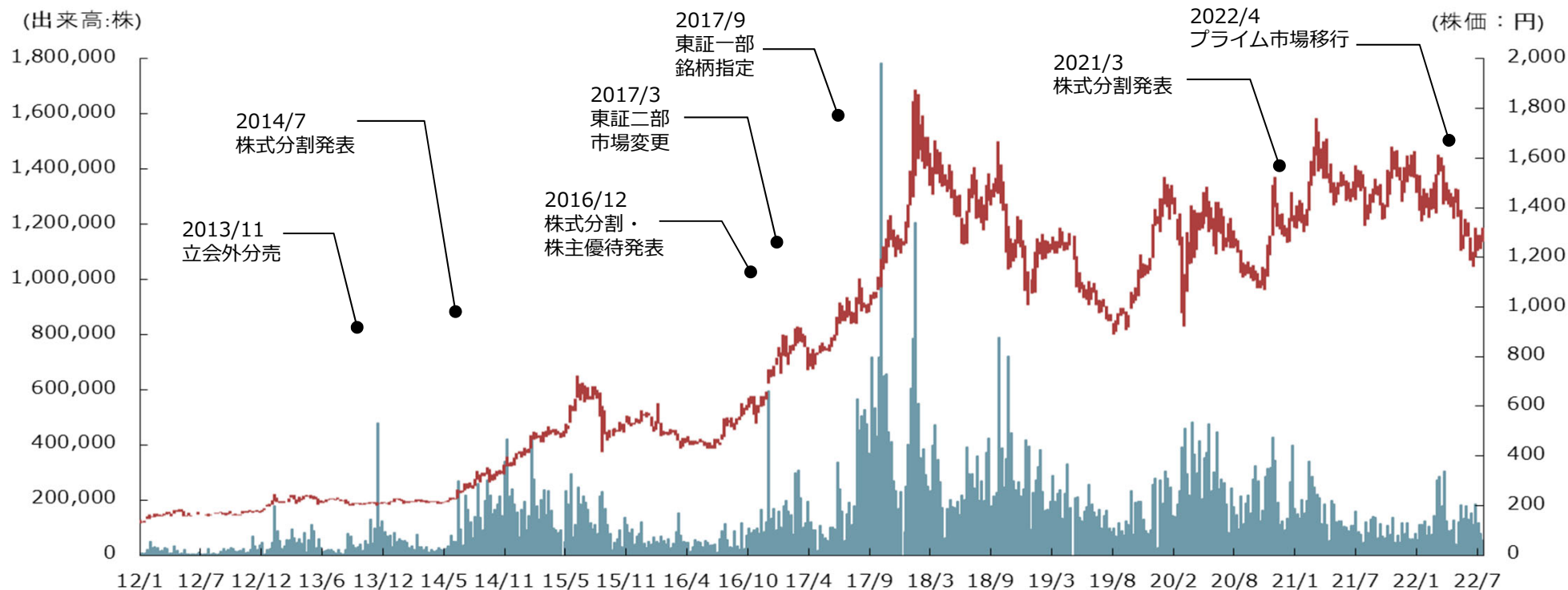
投資指標



※ 2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

株価推移とバリュエーション

週足ベース株価推移（2012年1月～2022年7月）



※ 2014年10月1日、2017年1月1日、2021年4月1日実施の株式分割の影響を考慮しています

バリュエーション（2022年7月27日現在）

売買単位	100株
時価総額	322億円
ROE (22/3期実績)	9.8%

単元株価格	12万8,900円
PER (23/3期予想)	22.29倍
PBR (22/3期実績)	2.01倍

IR情報サイトのご案内



IRトピックス

最新のIR活動に関する話題を掲載しています。

メニュー項目

「+」をクリックいただくと各カテゴリーのメニューが表示されます。

現在閲覧中の項目はオレンジ色でハイライト表示となります。

IRニュース

有価証券報告書や決算短信など適時開示情報に関するニュースはこちらで確認いただけます。

URL <https://www.ns-tool.com/ir/>

当社に関する一層の理解を深めていただくためにも是非ご活用ください。

お問い合わせ

日進工具株式会社

取締役	経営企画室長兼管理部長	戸田	覚
管理部	経理課長	今関	弘毅
管理部	I R担当	松尾	友紀子

TEL : 03-6423-1135

FAX : 03-6423-1186

E-mail : ir@ns-tool.com

(注) 将来予想に関する記述については、目標や予測に基づいており、
確約や保証を与えるものではありません。
予想と異なることがある点を認識された上でご利用ください。